

**広島県動物愛護センター収容動物管理システム調達等業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）**

項 目		内 容
1	日 時	令和 5年 11月 16日 9時30分～12時
2	場 所	広島県庁本館 R4 会議室
3	出席委員	坂本 信義（広島県総務局情報システム担当課長） 東久保 靖（広島県食肉衛生検査所長） 柳本 慎治（広島県動物愛護センター所長） 中村 満（広島県健康福祉局食品生活衛生課長） 湯藤 亜里（広島県健康福祉局食品生活衛生課食肉衛生担当監）
4	議 題	提案書に係るプレゼンテーション及び選定委員会
5	担当部署	健康福祉局 食品生活衛生課
6	開催方法	① 参集 2 持ち回り
7	議事内容	<p>1 審査方法 提案された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>2 審査結果 (1) 審査対象者（参加資格申請書提出順） ①株式会社静岡情報処理センター ②株式会社 I S T ソフトウェアソリューション事業本部 (2) 審査対象者の評価値 審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。 (3) 最優秀提案者及び選定理由 ア 最優秀提案者：株式会社静岡情報処理センター イ 選定理由 より SaaS に近い形でシステムを提供するという提案が、他社よりも優れているため。</p> <p>3 審査会での協議事項 評価基準の総合点を掲示し、事業者の提案内容に対する意見を述べた。 意見抜粋 ・事業者①：当県のためにパッケージを新たに作る、ということであったので、法改正等によるカスタマイズ作業費が全て当県の負担となり、長期的に見たときに額が大きくなる。 ・事業者②：同様のシステムを他県でも導入しているため、そういった全国的な改正に伴う回収作業費の1自治体当たりの負担が少ないと考えられる。</p>